

## 授業科目 病理学実習

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	臨床
池上 喜久夫、非常勤講師		開講時期	前期	必修選択	必修
		単位数	1	時間数	45
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	○		○	◎	
【概要・一般目標：G10】					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・病理学的診断に必要な標本を作製できる技術を習得する。</li> <li>・細胞学的診断に必要な知識を習得する。</li> <li>・細胞学的診断に必要な技能を身につける。</li> </ul>					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 病理検体を薄切して、病理標本作成する。</li> <li>2. 病理検査に必要な染色技術を熟練する。</li> <li>3. 染色の機序と結果を説明する。</li> <li>4. 細胞診検査の手法について説明する。</li> <li>5. 細胞診標本作製・鏡検し悪性細胞を説明する。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1, 2	標本作成	検体の種類・切り出し・固定・脱灰		1	グループ実習
3, 4	標本作成	包埋・薄切		1	グループ実習
5, 6	標本作成	包埋・薄切		1	グループ実習
7, 8	一般染色	ヘマトキシリン-エオジン (HE)		2-3	グループ実習
9, 10	アミロイド	コンゴレッド		2-3	グループ実習
11, 12	結合織	ビクトリアブルー・HE		2-3	グループ実習
13, 14	結合織	アザン・マロリー		2-3	グループ実習
15, 16	多糖類	PAS アルシアンブルー		2-3	グループ実習
17, 18	内分泌顆粒	グリメリウス		2-3	グループ実習
19, 20	細胞診	標本作製		4-5	グループ実習
21, 22	細胞診	婦人科、呼吸器		4-5	顕微鏡観察
23	細胞診	婦人科、呼吸器、その他		4-5	顕微鏡観察
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		病理検査学 実習書	日本臨床検査学教育協議会	医歯薬出版	3,800円+税
参考書		新 染色法のすべて 細胞診を学ぶ人のために	医歯薬出版 編 坂本 穆彦	医歯薬出版 医学書院	5,040円+税 2011・10,290円
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
スケッチ 60% テスト 40%		<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考図書は、図書館に配備します。理解を深めるために利用してください。</li> <li>・色鉛筆を用意してください。</li> <li>・色鉛筆は通常12色セットの他、以下の色をそろえてください。</li> </ul> <p>■三菱鉛筆の MAGENTA525、CELADON538</p>			